



2024年 5月 7日
第167号

JR東労組 Yokohama

JR東労組横浜地本

発行人 助川一実
編集 情宣担当
ホームページ



<http://www.jreu-yokohama1.jp/>

横地申
第24号

「駅業務執行体制の再構築」(駅輸送業務)に関する申し入れ 団体交渉③ 川崎駅・藤沢駅・共通

4. 短編成時(10両など)におけるお客さまの駆け込みに対する対策を示すこと。

【会社回答】必要な対応は実施している。

組合	会社
両数等はA T O Sのみで肉声での案内は行わないのか。	肉声放送もある。通常時は自動放送がメイン。川崎駅において、踊り子号9両は横浜寄りによっている。駅の発意で足元に大型のシールで対応する。
15両と10両で100メートルの差がある。会社として考えている事は？	L E D表示も駅によって改良して工夫している。4月になると不慣れなお客さまが増えてくる。駆け込み乗車キャンペーンなどの啓蒙活動も行っていく。
人の放送と人の合図は必要。現状として行われている対策では、乗務員としてのストレス、足元シールは不慣れな人では伝わらない。	・・・

5. ホーム上の照明を明るくすること。

【会社回答】現時点において、ホーム上の照明を改修する計画はない。

組合	会社
ホームの照明について、川崎駅は全体、藤沢駅は大船方が暗いと乗務員からの声が出ている。	基準は満たしている。ホーム照明の蛍光灯の玉切れ等は随時交換している。順次L E D化を進めている。
老朽化取替・施策実施のタイミングでの交換はあるのか。	老朽化取替については順次行っている。施策実施については必要な整備を進めていく。優先順位を変える回答はできないが、例えば事務室とホームの照明でいけば優先はホームの照明となる。

7. ITV設置の立ち合いは、主として本線を乗務する社員を立ち合わせる事。

【会社回答】車掌用ITVの設備については、関係箇所において必要な確認を行っている。

組合	会社
立ち合いは内勤やたまにしか乗務しない指導担当ではなく、日常的に乗務する人が立ち会うべきではないか。	立ち合いについては決まった日程と時間となっているので、設置位置が判断できる方をお願いしている。
判断できる方の判断が間違っているのでは、本線乗務員に立ち合わせるべきである。	本線乗務員の要求を関係箇所のしかるべき立場の人に立ち会っていただく。
I T Vを映し出している画面自体、声があったら調査することで逆に労力が増えてしまう。だからこそ最初の段階で決めてほしい。	画角の調整自体は行っていない。微調整はこの間も行っている。不具合があれば本線乗務員が立ち会うことは少ない。管理者・指導担当に委ねている。様々なケースで画角調整していく。
工夫していくのが立ち合いの役割ではないか。	一か所で一日かけて調整している。指導担当が中心になるが・・・
調整においても金がかかるものなので、最初の段階で考えてほしい。	・・・

共通1. 安全上、サービス面、人材育成の観点から無暗に駅の立ち番を削減しないこと。

【会社回答】引き続き効率的な業務執行体制を構築していく考えである。

共通項

組合	会社
ホーム立ち番がいなくなってくる中で、人材育成・サービス面・安全面において削減するべきではない。必要な業務の認識はあるのか。	提案するタイミングで、人材育成のやり方は様々ある。いらぬ業務という認識はない。

その④へ続く